



UTO から世界へ！ 第36号

台湾特派員だより ～台湾の大学生活～

舛田 崇光さん

静宜大学 情報工学部情報工学科

大学の講義

やはり、語学の壁は相当なもので、先輩によると、1年半は苦労の日々が続くそうです。自分はその真っ最中です。中国語(科目)の授業では、「この前耳にした中国語はこういう意味だったのか!」と新たな知識が身についた感覚があったり、日本とは異なる文化を知ったりできるので、面白く感じています。微積分の教科書は英語なのですが、高校で使われる記号はこの単語から来ているのか!という場面が多々あり、英語で勉強するのも案外面白いなあと感じています。

台湾で驚いた・困ったことベスト3

1位 使ったトイレットペーパーは流さずに近くのごみ箱に

詰まるのを防止するために基本は流さない。商業施設や駅などでは設備が整っているので流せる。

2位 臭豆腐(チョードウフ)のあまりの臭さ

強烈な刺激臭。「これは食べ物か?」と疑うほどの匂い。臭さと味がやみつきになる人も…。

3位 バイクの多さと速さ

最高時速は140km/h(125cc)、軽自動車ほどの性能。普通の道をバイクが60,70km/hで走っているのは衝撃的。友達が乗せてくれましたが、スリル満点(笑)。

台湾のいいところベスト3

1位 変に気遣わない台湾人の温かさ

台湾の友達は初対面の時から気さくて、妙な距離感・遠慮がない。すっかり仲良しに。

2位 台中市内のバス、学生は10kmまで無料!上限は10元(50円)!

台湾は学生支援が手厚い。

3位 日本が恋しくなっても大丈夫!日本のチェーン店・商品がたくさん!

割高ですが、Made in Japan はすごい。すきやや丸亀製麺も。

様々な国の方と交流

宇土中高のみなさんへ

幼いころ、いきなり二輪自転車に乗れた人はいますか。最初は補助輪付きの自転車に乗り、けがをしながら徐々に二輪に乗れるようになったことと思います。

宇土中高には、その補助輪としてみなさんをサポートしてくれる先生がいて、共に自立して走っていけるよう協力し合えるすばらしい同級生・先輩・後輩がたくさんいて、自分を試し、成長させる機会がたくさんあることと思います。

「おもしろそうだな」「楽しそうだな」「やってみようかな」「調べてみようかな」…と思うことは、誰にでもできることです。1歩踏み出すにはかなりエネルギーが必要ですが、1歩踏み出せば、視界が広がり、案外うまくいくものです。

もちろん、うまくいかない、やっぱり違うなと思うこともあります。私もたくさんありました。その時は、また別のものを見つけてみましょう。その経験は決して無駄ではなく、これからの糧になるのです。

小さな「探究心」は、時間をかけて発芽し、花が咲き、大きな大きな「**自分色の樹**」となっていくですよ。

台湾留学はもちろん、悩み事など、私が力になれることがあればいつでもご連絡ください。



台北101からの夜景

